

県内主要小売店10月売上高

3社が前年上回る

県内に拠点を置く主要小売店5社の10月売上高実績(全店売上高)は、前年同月を上回ったのは3社にとどまった。集客に苦戦しながら、来店目的を高める施策が奏功し、水産やベーカリーといった強化する部門が好調だった。Vドラッグは高温の影響で、夏物がけん引したが、カイロや防寒衣料、スキンケア、ハンドクリームといった冬物の出足が鈍い。ホームセンターバローは防災用品などが好調だったが、秋冬物が低調だった。

ことに加え、例年よりも気温が高い日が続いたことが大きく響いた。

バローは客数が横ばいながら、来店目的を高める施策

県内主要小売店
10月実績

	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	2.6	1.5	0.0
Vドラッグ	3.4	0.9	▲0.9
ホームセンターバロー	▲2.4	▲6.1	▲7.3
セリア	3.3	0.1	0.5
ヒマラヤ	▲9.2	▲14.3	

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。空欄は非開示

セリアは客数が伸び悩んだ。衣替えの時期が後ろ倒しになったこともマイナス

要因となった。「衆院選が影響したのか理由は分析しきれないが、人流が変わった」としている。

ヒマラヤは残暑が続いたことで、衣替え需要を見込んだアパレルが不振。またキャンプ用品が前年割れとなった。